

『高知のキャリア教育』の推進

こどもたちの社会的・職業的自立に向け、就学前・小中高が連携してすすめる高知のキャリア教育

高知のキャリア教育3本柱 →

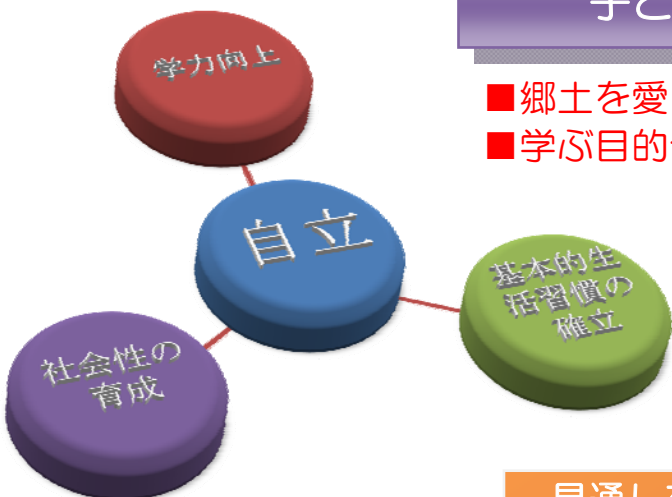
学力向上

基本的生活習慣の確立

社会性の育成

子どもたちの「夢」や「志」をかなえる基となる力を育てる

- 郷土を愛し世界にはばたく、心豊かでたくましく創造性に満ちた子ども達の育成
- 学ぶ目的や意義を自覚し、自ら学ぶ力をもった人間の育成



自らの将来を切り拓く力を育てる
現実的探索・試行と社会的移行準備の時期

- 自己理解の深化と自己受容
- 選択基準としての勤労観、職業観の確立
- 将来設計の立案と社会的移行の準備
- 進路の現実吟味と試行的参加

見通しをもつ力・やりぬく力を育てる
現実的探索と暫定的選択の時期

- 肯定的自己理解と自己有用感の獲得
- 興味・関心などに基づく勤労観、職業観の形成
- 進路計画の立案と暫定的選択
- 生き方や進路に関する現実的探索

かかわり合う力・自ら学ぼうとする力を育てる
進路の探索・選択にかかる基盤形成の時期

- 自己及び他者への積極的関心の形成・発展
- 身のまわりの仕事や環境への関心・意欲の向上
- 勤労を重んじ目標に向かって努力する態度の形成

人格形成の基礎となる豊かな
心情・意欲・態度を育てる

生きる力の基礎を培う時期

- 健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活をつくり出す力を養う
- 自立心を育て、人とかかわる力を養う
- さまざまな環境に好奇心や探究心をもって主体的にかかわろうとする力を養う
- 言葉に対する感覚や言葉で表現する力を養う
- 感性と表現する力を養い、創造性を豊かにしていく

就学前

◇就学前は、生涯にわたる人格形成の基礎となる、豊かな心情、物事に自分からかかわろうとする意欲、健全な生活を営むために必要な態度などが培われる重要な時期である。
◇保育所・幼稚園等では、小学校以降の生活や学習の基盤の育成につながることに配慮し、幼児期にふさわしい生活を通して、創造的な思考や主体的な生活態度の基礎を培う。
◇保育所・幼稚園等における幼児の生活が、家庭や地域社会と連続性を保ちつつ展開されるようにする。その際、地域の自然、人材、行事や公共施設などの地域の資源を積極的に活用し、幼児が豊かな生活体験を得られるようにする。

小学校【6年間】

学力向上

- ◇各教科等の授業や単元等のガイダンスを工夫し、目的意識を高める。
- ◇各教科の学習内容を吟味し、生活との関連を深める。
- ◇職業に関することや人の生き方に関する内容を活用する。
- ◇日常生活における言語の役割や機能などについて意識や関心をもって正しい国語を用いることができるようにする。など

基本的生活習慣の確立

- ◇生活のリズムを習慣化させる。
- ◇返事やあいさつ、時間や約束を守ることができるようにする。
- ◇家庭学習の習慣化を図り、自ら学ぼうとする力を育てる。
- ◇読書を通して、自分と他者の気持ちを考えられる豊かな心を育む。など

社会性の育成

- ◇自分の役割や責任を果たし、役立つ喜びを体得させる。
- ◇社会と自己のかかわりから、自らの夢や希望をふくらませる。
- ◇職場見学等を通し、働くことの意義について考えさせる。
- ◇地域に関する副読本や教材等を活用し、郷土を愛する心を育てる。など

中学校【3年間】

学力向上

- ◇各教科等とキャリア教育との関連性について正しく理解し、見通しをもつ力を育てる。
- ◇各教科等の特質と単元や題材などの内容を生かした創意工夫を行う。
- ◇学ぶことや働くこと、生きることの尊さを実感させ、学ぶ意欲を向上させる。
- ◇日常生活における言語の役割や機能などについて意識や関心を持ち、正しく美しい国語を用いることができるようにする。など

基本的生活習慣の確立

- ◇生活のリズムを習慣化し、自己管理能力を育てる。
- ◇場に応じた返事やあいさつ、時間や約束を守ることができるようにする。
- ◇家庭学習の習慣化を図り、見通しをもつ力・やりぬく力を育てる。
- ◇読書を通して、自分と他者の気持ちを考え、自己の考えをもつことができるよう豊かな心を育む。など

社会性の育成

- ◇自分の役割や責任を果たし、自主性を高める。
- ◇社会と自己のかかわりから、自分の特徴に気づき、自分らしい生き方について考えさせる。
- ◇職場体験やボランティア活動等を通し、職業観・勤労観を深め、ともに助け合い生きる喜びを体感させる。
- ◇高知県に関する副読本や教材等を活用し、郷土を愛する心を育てる。など (キャリア教育副読本の活用)

高校【3年間】

学力向上

- ◇中学校段階までの基礎学力を定着させ、進路実現をイメージしながら学習に取り組むようにする。
- ◇専門的な知識・技能を身に付けさせる。
- ◇自分の考えを文章にしたり、発表するなど社会生活に必要なスキルを身に付けさせる。
- ◇物事を論理的に判断できる能力を身に付けさせる。
- ◇言語活動を活発かつ適正に行わせ、豊かな言語能力を養う。など

基本的生活習慣の確立

- ◇基本的な学校のルールを守ること、自己管理能力を高める。
- ◇社会で通用するマナーを身に付けさせる。
- ◇自らの進路を考えた家庭学習をできるようにする。
- ◇読書を通して感性を磨き、読解力や表現力、想像力を高め、人生をより豊かに生きる力を育てる。など

社会性の育成

- ◇主体的に社会の形成に参画していくために必要な思考力、判断力、コミュニケーション能力を育てる。
- ◇自分と他者が互いを認め合い、切磋琢磨し、自分の良さを伸ばできるようにする。
- ◇「場」に合った言動ができるようにする。
- ◇インターンシップを通して社会に出る具体的なイメージをもたせる。
- ◇郷土の将来を考え、自分の担う役割を自覚させるとともに、多くの人との触れ合いを通して、公共の精神を養い、グローバルな視野をもった人材を育てる。など

社会的・職業的自立

平成 24 年度予算額
60,831 千円
(51,076 千円)

新 小中学校キャリア教育推進事業 7,287 千円

- 中学生用キャリア教育副読本作成
郷土を愛する態度を育てるとともに自らの生き方について考えを深めるための中学生用キャリア副読本を作成・配付
- キャリア教育連絡協議会
キャリア教育を充実させるための方策や実践事例についての情報交換や協議
- 教育の日関連事業「高知県キャリア教育フォーラム」
学校・家庭・地域(産業界)の代表者によるシンポジウムや実践発表

組替新 学校パワーアップ事業
21,691 千円 (21,202 千円)

- ①学力向上対策の研究 ②教員ゼミ事業
- ③キャリア教育研究事業 ④教育課程研究事業

組替新 生徒パワーアップ事業
31,853 千円 (29,874 千円)

- ①学力向上サポート員事業 ②社会人基礎力の育成
- ③大学へ行くプロジェクト事業 ④企業を知ろう事業
- ⑤仕事を知ろう事業 ⑥本物に触れる事業 ⑦高大連携